

太地町×自動運転



2024年2月21日 太地町役場 総務課

～ スローモビリティで街中の高齢者にやさしい移動環境 「自動運転」が令和4年11月1日から地域に実装～

■概要

- 和歌山県下で行政面積が一番小さなまち (5.81km²)
- 人口：2,841人 (R6.1末)
- 高齢化率：約45.4%
- 平成16年より30年のまちづくり全町公園化を推進



- 令和3年度内閣府未来技術社会事業に応募し、「自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業」が採択
- 令和4年8月～9月の2か月間に自動運転レベル2の実証実験を行い、同年11月よりサービス実装
- 町役場をスタートし、既存町営じゅんかんバスでは運行できないエリアを中心に、漁協スーパー・老人憩いの家・病院等を周回する1周3.2km所要時間約45分のルートで、2台体制 (1日18便) で運行
- フリー乗降性でタクシーのように手を挙げていただければ止まり、太地町のテーマソングで接近お知らせ
- 車両はヤマハ発動機製、道路に埋められた電磁誘導線に沿って低速走行



- 住宅密集地の道路事情に合わせ5人乗を採用
- 手動では運転が難しい狭路でも、自動運転であれば安全を確保した走行が可能



低速車両のため、地域をゆっくりと回ることができ、乗務員に地域の見守りを依頼、福祉的な要素も強い
 ※出典) SIPcafe ～自動運転(自動運転見聞録)～ から引用

■走行ルートと自動運転車両



- コース1週 3.2 km
- 約45分、時計回り



- ・定員：乗客4名
- ・速度：12km/h程度
- ・導入台数：2台(1日18便)
- ・運賃：無料
- ・利用状況：平均27人/日

電磁誘導線

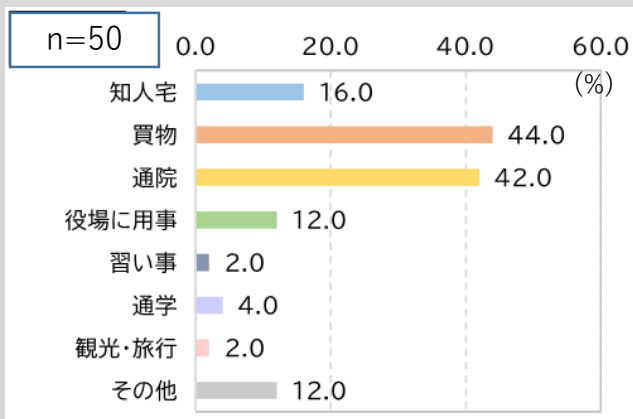
※出典) 太地町資料より

～ 自動運転走行ルートに沿道地区アンケートの結果～

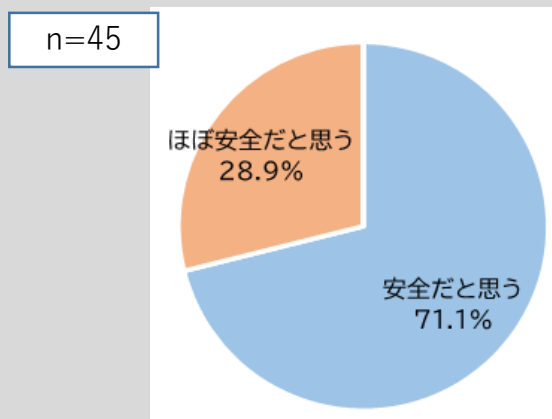
- 対象地区：水之浦、寄子路、新屋敷、小東、大東
- 調査方法：全戸への郵送配布・郵送回収方式
- 実施期間：2022年10月3日（月）～10月24日（月）
- 調査結果：以下（抜粋）

概ね、すべての項目で利用者の満足を得ている状況です。

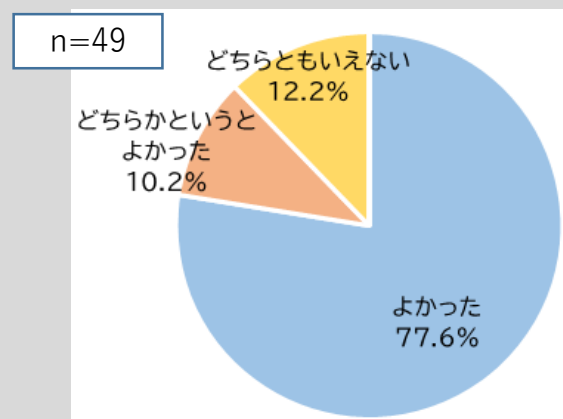
(1) ご利用時の主な目的を教えてください。



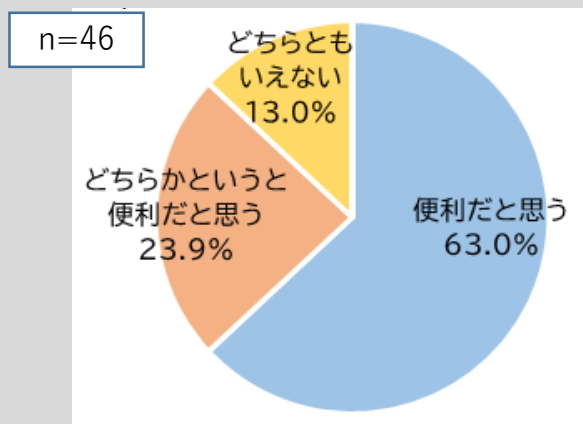
(2) 安全な乗り物だと思えましたか。



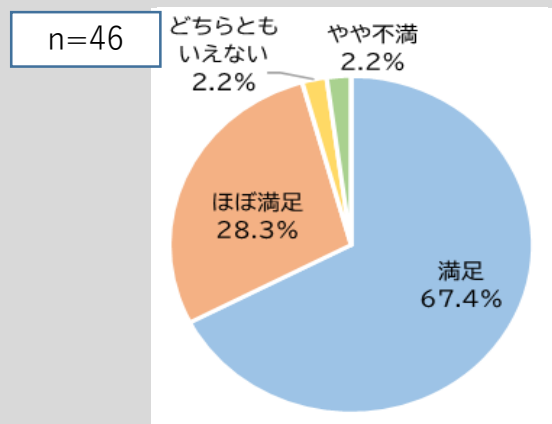
(3) 車両の乗り心地はいかがでしたか。



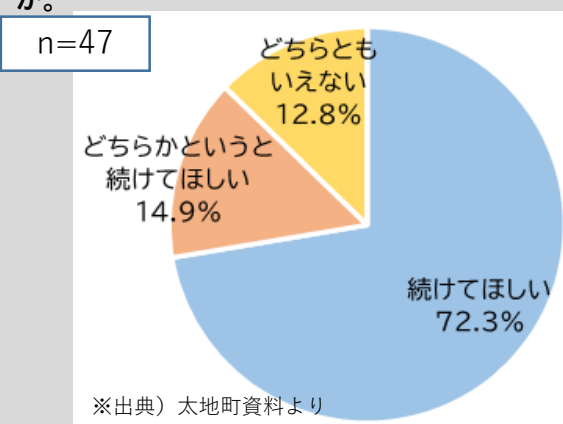
(4) 移動手段として便利だと思いますか。



(5) 自動運転サービスに満足できましたか。



(6) 今後も自動運転を続けてほしいと思いますか。



※出典) 太地町資料より

～ 自動運転利用者数の推移～

■期間： 実証実験→2022年8月1日～9月30日（車両1台）

実 装→2022年11月1日～（車両2台）

※実証実験：車両1台
利用人数：494人
247人・台/月

※実 装：車両2台
利用人数：11,568人
（令和4年11月から令和5年12月）
413人・台/月

実証時と比較して
利用者月平均67%増加

実装後利用人数（人）

